

## 令和元年度 環境対策特別委員会 県外視察の概要

### 1 参加委員

岡本 富治(委員長), 立川 了大(副委員長), 岡 佑樹, 大塚 明廣,  
庄野 昌彦, 長池 文武, 東条 恭子

### 2 視察日程及び視察箇所

視察日程	視 察 箇 所
9月3日(火)	ハマウイング(横浜市風力発電所) (神奈川県横浜市)
	衆議院第二議員会館(環境省) (東京都千代田区)
9月4日(水)	昭和電工株式会社川崎事業所 (神奈川県川崎市)

### 3 調査目的及び視察概要

#### (1) ハマウイング(横浜市風力発電所)

##### (調査目的)

神奈川県, 横浜市, 川崎市, 岩谷産業, 東芝, 豊田事業者等が環境省からの委託を受け, 京浜臨海部における再生可能エネルギーを活用した低炭素な水素サプライチェーンモデルを構築する実証を平成27年度から平成30年度まで実施してきた。

その内容は, ハマウイング(横浜市風力発電所)で発電された再生可能エネルギーを活用し, 水の電気分解により水素を製造, 貯蔵し, 水素充填車で輸送, 近隣の青果市場, 倉庫等において燃料電池フォークリフトで利用するというものであり, 地域と一体となった水素サプライチェーンの構築と事業可能性検討を行ったもの。

これらを踏まえ, 次の内容について調査を行った。

- ①地域連携・低炭素水素技術実証事業の概要と実証結果について
- ②今後の事業可能性と地域展開について
- ③施設見学

##### (視察概要)

ハマウイング(横浜市風力発電所)において, 地域連携・低炭素水素技術実証事業の概要と実証結果等について説明を受け, 風力発電所, 水素貯蔵タンク等の施設を見学した。



## (2) 衆議院第二議員会館（環境省）

### (調査目的)

平成30年6月に閣議決定された第四次循環型社会形成推進基本計画を踏まえ、本年5月に「プラスチック資源循環戦略」が国において策定された。

資源・廃棄物制約、海洋プラスチックごみ問題、地球温暖化、アジア各国による廃棄物の輸入規制等の幅広い課題に対応するため、3R+Renewable（再生可能資源への代替）を基本原則としたプラスチックの資源循環を総合的に推進するための戦略として策定されたもの。

これらを踏まえ、「プラスチック資源循環戦略」の取組について調査を行った。

### (視察概要)

環境省の担当者より「プラスチック資源循環戦略」の取組について説明を受けた。



### (3) 昭和電工株式会社川崎事業所

#### (調査目的)

昭和電工株式会社川崎事業所では、プラスチックのケミカルリサイクルを行っており、自治体が回収した使用済みプラスチックを破砕・成形し、ガス化施設においてガス化、取り出した成分（水素，二酸化炭素）を利用してアンモニア（プラスチックや合成繊維，化学肥料等の原料）や炭酸製品（ドライアイス，液化炭酸ガス）を製造している。

合成ガス生成過程で回収されるスラグ，金属類，塩，硫黄はすべて資源として有効利用されるゼロエミッション型リサイクル設備である。

また，平成27年からは取り出した水素を利用し，環境省の地域循環型水素地産地消モデル実証事業により，専用のパイプラインを用いて水素を臨海部へ運び，ホテルへ電気や熱を供給するとともに，圧縮水素トレーラーを用いて水素ステーションに運び，燃料電池自動車へ供給する実証を行っている。

これらを踏まえ，次の内容について調査を行った。

- ①使用済みプラスチックのケミカルリサイクルについて
- ②地域循環型水素地産地消モデル実証事業について
- ③施設見学

#### (視察概要)

使用済みプラスチックのケミカルリサイクルについて説明を受けるとともに，その施設を見学した。

また，取り出した水素を地域で活用する地域循環型水素地産地消モデル実証事業についても説明を受けた。

